

「多賀城発で多賀城着。」

「tag(たっぐ)」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。

多賀城から世界を目指すマジシャン!

多賀城市在住のマジシャン「マッキ.☆」さんは、主に市内のお祭りや公共施設のイベントでパフォーマンスを披露しています。学生時代に旅した中国で出会ったマジシャンの華麗な技に感動し、自分もたくさんの人に「ワクワク」や「ドキドキ」を届けられるような存在になりたいと、仕事のかたわらマジシャンの活動をはじめました。ステージに立った時「スゴイですね、楽しかった!」と拍手喝采に包まれる瞬間がいちばんの喜びであり、地域のいろいろな場所でマジックを披露し、まち全体を盛り上げていきたいと熱い思いを持っています。地域で腕を磨きながら、世界中のマジシャンが腕前を競うマジックのオリンピックに出ることが目標とのこと。これからの活躍にも期待したいですね。



たがさぼPressもご覧ください!

「マジックで地域を盛り上げたい」
(2019年7月25日掲載)

マジックのご依頼などはこちらへどうぞ!

マッキ.☆

メール endo5512@gmail.com / 電話 080-4005-4909
料金 応相談

ただ見てもらうだけでなく、お客さんに参加してもらう時もあります。

ヒント from たがさぼPress

たがさぼのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します!

- 2020年1月23日(木)掲載 / 知ってますか? 預かりボランティアのこと
- 2020年1月30日(木)掲載 / 地域を自分を「ちょっと動かす」コツ! この一冊
- 2020年2月8日(土)掲載 / 人が集まるイベント・会議を開く前に

“たがさぼPress”とは?

たがさぼスタッフによるブログ。興味がわいたら「たがさぼPress」へ!
<https://blog.canpan.info/tagasapo/>



“tag”のアンケートのお願い

今後の誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします!
また、以下のような情報もお待ちしています!

- 自分たちの団体を取材してほしい
- ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
- こんな話題を取り上げてほしい

たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

出前NPOいちから塾

NPOって何? どんな活動をしているの? 多賀城にもNPOはあるの? といった疑問にたがさぼスタッフがお答えします。研修プログラムや勉強会などにご活用ください。あわせて地域づくりや活動の相談にも応じます。

内容 NPOの意味や成り立ち、具体的な活動事例紹介
時間 60分~90分程度(日程はご相談ください)
対象 NPOについて知りたい方/活動をふりかえりたいNPO
他団体と協力して地域のことを考えたい自治会
連携先を探している企業・行政/地域の活動とつながりたい学校など
会場 要相談
費用 無料
問合せ 022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター)



地域で遊んで、学んで、食べる 大代地区の子どもたち

大代地区公民館では春休みなどの長期の休みの時に、学習支援の場「まなびのひろば」と「おおしろ子ども食堂」を東小学校の児童を対象に開催しています。地域で子どもを見守り、世代交流できる場にもなっています。



地域 みんなで子どもを
育てているんだな



1 子どもたちの居場所をつくる

近くに児童館がないこともあり、放課後や長期の休みになると大代地区公民館は子どもたちでにぎやかになります。公民館前でボール遊びをしたり、廊下で寝転がって遊んだり過ごし方はさまざま。「子どもたちが集まる場所になるのはよいことだけど、ちょっとハラハラする時もある、もっと安全に、安心して過ごせる場所にできないかな」と思った職員の阿部さんは、みんなで楽しく学習できる場として「まなびのひろば」を2018年12月の冬休み期間中に開催しました。参加したたくさんの小学生を見ながら「長い休み、お昼ごはんをひとりで食べている子どももいるのでは」と気づいた阿部さん。そこで2回目の「まなびのひろば」は「おおしろ子ども食堂」も一緒に開催しました。



ボランティアの学生さんが、ていねいに勉強を教えてくださいます。

2 子どもも大人も一緒に食べる

学習支援で勉強をしてくれるのは東豊中学校や多賀城高校の生徒、大学生、地域の方などです。集中して勉強したあとは、お待ちかね、大代地区婦人会をはじめとする地域の方々や近隣の市町村から参加した調理ボランティアのみなさんがつくったお昼ごはん。ちょっと聞いてもらいたいこと、今すぐ話したいことなどなど...楽しくおしゃべりしながら子どもも大人も一緒に食べます。

きっと一昔前はもっとご近所や地域との関わりもあったはず。けれども今は防犯面などさまざまな事情から、地域の人同士の関係性が薄くなっています。いろいろな年代が集い交流できる場は子どもたちにとっても新鮮です。何より、みんなでごはんを食べるっていいですね。

3 地域のコミュニティが子どもを育てる

公民館を運営している大代地区コミュニティ推進協議会は町内会をはじめ地域の方々から多くの協力を得て、子どもたちのための場を開いています。また、市役所や学校とも連携し、チラシの配布に協力いただいているそうです。

参加した子どもたちからは「勉強でわからないところを教えてもらえてよかった!」「また来たい」という継続を望む声がたくさんあります。「学習支援活動も子ども食堂も、まず公民館がきっかけをつくって、その後は地域の方や関わってくれた方が自主的に継続して運営することが大切と考えています」と、阿部さんは言います。

気軽に子どもたちが集える場所がある、家族が子どもを安心して送り出せて、頼れる場所がある、この取り組みが地域の人たちによってこれからも続けていけるといいですね。



この日のメニューは豚汁とおにぎり。「おいしいね!」という言葉に手際よくつくっていきます。

こちらをご覧ください!

大代地区コミュニティ推進協議会
「まなびのひろば・おおしろ子ども食堂」

大代 子ども食堂 検索

たがさぼ
Press

【イベントレポート】
まなびのひろば&おおしろ子ども食堂
(2019年4月8日掲載)

〈次回開催〉

2020年8月(夏休み)を予定しています
※3月31日に予定していた回は中止となりました。

連絡先:022-364-8442(大代地区公民館)



What's? //



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



@tagasapo
たがさぼのツイッターへの
フォローをお願いします!



<https://www.tagasapo.org/>
たがさぼのホームページは
こちらへアクセス!